



防災訓練を実施(宇治市は一年十回)10月13日撮影

地震災害を最小限に 阪神・淡路大震災から3年

1月17日に総合防災訓練

六千三百人を超える犠牲者を出した阪神・淡路大震災から、まもなく三年。あの震災は、都市で発生する地震の恐ろしさと目撃者の備えの大切さを、改めて私たちに思い知らせました。突然の地震からあなた自身と大切な家族を守るためにも、この機会にぜひ家庭での備えを見直してください。また、市では大震災の経験を踏まえ、地震防災体制の確立を目指して、一月十七日(出)、太陽が丘で総合防災訓練を実施します。参加は自由ですので、多数お越しください。

● 総合防災訓練(管内線2052)

今回の訓練は、一月十七日(出)午前九時から正午まで太陽が丘の第二駐車場を会場に実施します。この日の午前五時四十分、京都府南部にマグニチュード7の直下型地震が発生したと想定。被災後の避難住民への支援活動能力を高め、防災関係機関相互の連携を強化しようというものです。

地域の皆さんの力が、地震災害を最小限に抑える大きな原動力となります。このため訓練では、参加の皆さんによる初期消火や負傷者の救出、応急手当、安否確認など初動活動をはじめ、避難された皆さんへの救護・支援活動や生活必需品の手配要請などの生活支援活動を中心に実施。加えて、災害対策本部の運用訓練のほか、消防・消防団、陸上自衛隊、警察、医師会、社会福祉協議会、日本赤十字社など、訓練参加機関・団体による応急対策訓練や、生活を支える水道・電気・ガス・電話などライフライン関係の事業所による復旧訓練なども行います。

家庭や地域で地震への備えを考えていただく契機として、ぜひご来場ください。なお、自動車でご来場の場合は、太陽が丘所定の駐車料金が必要になります。また、訓練当日は参加車両やヘリコプターが来たりサイレンを鳴らしたりします。会場周辺の皆さんのご理解をお願いします。

これだけは覚えておきたい
地震はいつ起こるか分からないところに恐ろしさがあります。地震が起きたらどうすべきか、また、いつ発生しても適切に対応できるように、次の点に留意してください。

- ① まず身の安全を
倒れやすい戸棚や本箱からすぐ離れ、丈夫なテーブルや机の下に身を隠す
- ② 素早く火の始末
③ 火が出たらすぐに消火
あわてずに初期消火を。隣近所にも協力を求める
- ④ 戸を開けて出口を確認
⑤ 外へ逃げる時はあわてずに
⑥ 狭い路地やブロック塀に
- ⑦ 山崩れ、がけ崩れ、津波に注意
海辺では小さい揺れでも津波に注意。急いで高い所へ移動する
- ⑧ 避難は徒歩で
⑨ 協力しあって応急救護
お年寄りやからだの不自由な人、けが人などに声を掛け、みんなで助け合いを
- ⑩ 正しい情報で動く
ラジオやテレビなどで正しい情報をつかみ、的確な行動を。地元の情報はFM

あなたの地域にも
自主防災組織
防災資・器材の整備に補助金

地震の規模が大きくなるほど、防災機関によるきめ細かい災害対策活動は困難になります。自主防災組織は「自分たちの地域は自分たちで守る」という、地域の災害対策活動の中心になる組織。地域の住民の手で災害発生直後の初期消火や

風邪がはやっていきます
つがいなどをしっかりと
風邪を引かず、寒い冬を乗り切るため、風邪の予防に努めましょう。

- ① うがいと手洗いを十
- ② 規則正しい生活を
- ③ ベランダのこたえ
- ④ 薄着の心掛け
- ⑤ 温度と換気気を
- ⑥ 人込みに出掛
- ⑦ 自分に合った
- ⑧ 運動を 園保健予防課

(管内線2226)

被災者の救出・救護などに当たらうというものです。自主防災組織は新たに作らなくても、町内(自治)会といったすでにある組織を生かすこともできます。市では、防災資器材などを整備した自主防災組織に対して補助金を交付する制度(管内線2052)へ。

対象物の購入費用の二分の一で、限度額は十万円です(一団体一回)。あなたの地域でも自主防災組織づくりを進めてください。詳しくは企画管理部総務課(管内線2052)へ。

- ⑨ 落下・転倒防止
家具や照明器具を固定
- ⑩ ガス台の上には棚を作らない
- ⑪ テレビなど重い物は高い所に置かない
- ⑫ プロパンガスボンベは鎖でしっかりと固定
- ⑬ 身のまわりの安全対策
- ⑭ 消火器の備え
- ⑮ アンテナや屋根瓦の補強
- ⑯ 家・ブロック塀、石垣などの点検・補強
- ⑰ アンテナや屋根瓦の補強
- ⑱ 家族で避難場所や集合場所の確認
- ⑲ 非常持ち出し・家庭備蓄品の準備
- ⑳ 貴重品、携帯ラジオ、懐中電灯、衣類などの1次持ち出し品、水、食料
- ㉑ 燃料など災害復旧までの数日間を自足するための2次持ち出し品をすぐ持ち出せるよう準備

程一彦さん
料理研究家・程一彦さん
講演会
お米を食べて健康になろう
1月22日(木) 文化センター

お米を核とした日本型食生活の良さを見直していただくべく、市では料理研究家の程一彦(かずひこ)さんをお招きし、講演会「お米を食べて健康になろう」を開催します。講演会では「程一彦流」を聞かれます。

岩淵洋さん(70)を、同職務代理者に服部宏さん(66)を選任しました。

任期は、いずれも平成九年十二月二十六日から十年十二月二十五日までの一年間です。

健康養生生活「管理者の健康食事学」子育てと食生活の関わりなどをテーマに、和・洋・中の料理法のコツや、現代人の食と健康のかかわりについて、分かりやすくお話しいただきます。家族みんなが健康で生き生きと過ごすため、ぜひお聞きください。

▽とき：1月22日(木) 午後1時～3時半▽ところ：文化センター小ホール▽入場料：無料▽定員：先着400人 園農林茶業課(管内線2213)。

歴史資料館 収蔵品展
酒のうっわ
厚蘇という祝い酒にはじまる正月と酒は、切っても切れない関係にあると言えるでしょう。歴史資料館の収蔵品の中から酒器を中心に展示します。入場は無料。ぜひご来館ください。

1月13日(火)～2月1日(日)
午前9時～午後5時(月曜・祝日休館)

主な展示品
正月風俗図 古清水銀子(右写真)
まつたけつるまの酒器 松竹鶴電時絵折敷 根来盃
はなびらつるまの酒器 花菱紫唐子遊時絵提重 鉄鉢子ほか

園歴史資料館 (☎20-1311)

